

2026年度

教育推進機構 副専攻コース履修案内

《学部学生用》

(2024年度以前入学者対象)

2024年度以前入学者については、本コースを修了した場合、登録日本語教員の資格取得に係る経過措置Cルート（本案内11ページ参照）の対象となります。

登録日本語教員制度の概要等については、以下の日本語教育機関認定法ポータルサイトをご参照ください。

<https://www.nihongokyouiku.mext.go.jp/top>

岡山大学教育推進機構

目次

1	履修方法等について	2
2	概要	3
3	カリキュラムについて	3
4	修了要件について 2022～2024年度入学者に適用	5
5	2026年度副専攻日本語教育コース対象科目時間割	6
6	登録日本語教員の資格取得に係る経過措置について (日本語教育機関認定法ポータルサイトより)	11

1 履修方法等について

1 開設コース

教育推進機構では、副専攻コースとして「日本語教育コース」（以下「本コース」という。）を開設し、学部学生と科目等履修生を合わせて10人程度を受け入れます。

本コースの詳細については、3ページ以降をご参照ください。

2 履修方法等

3ページ「**3** カリキュラムについて」及び5ページ「**4** 修了要件について」を参照の上、修了要件を満たすように科目を履修してください。修了要件は、入学年度によって異なります。

履修登録は、本コース対象科目以外の科目と同様、各自で学務情報システムから行ってください。一部、抽選を実施する科目もありますので、注意してください。

2026年度日本語教育コース対象科目の講義番号及び開講曜日時限については、6ページ以降の「**5** 2026年度副専攻日本語教育コース対象科目時間割」に記載しています。授業科目の詳細については、各自でシラバス・時間割等により確認してください。

3 修得単位の取扱い

本コースで修得した授業科目・単位の扱いは、所属学部が編成している教育課程の授業科目の取扱い（全学で定めている授業科目に係る取扱いを含む。）によります。

所属学部の卒業要件単位となっている科目が、同時に本コースを構成する授業科目に該当する場合は、この科目を卒業要件単位と本コース修了要件単位の双方にカウントします。

4 修了証書の授与

本コースを履修して修了要件を満たした場合は、卒業時に副専攻コース修了証書が授与されます。（修了に当たって、手続等は不要です。）

また、本コースの修了者には、「副専攻コース修了証明書（副専攻コースの全修得科目も記載）」を交付します。

5 その他の留意事項

所属学部の卒業が決定した場合は、本コースの履修が途中であっても卒業となりますので、学部学生として本コースの履修を続けることはできませんが、卒業後、科目等履修生として履修を続けることが可能です。

※科目等履修生は、正規の学生と異なり、大学で開設されている授業科目のうち、必要な授業科目や興味関心のある授業科目だけを選んで履修する制度です。

2 概要

本コースは、日本語及び日本語教育に関する知識と実践能力を獲得し、日本語学習を必要とする人への教育に従事できる人材の育成を目指しています。本コースは日本語教育に関する科目26単位以上を修得する教育課程であり、教育実習が義務付けられています。

本コースの履修者には、日本語教育をめぐるさまざまな事象に対する問題意識を持ち、その解決に向けて知識や情報を論理的に関連付けて自らの考察や分析を深めていく主体的な取り組みが求められます。

3 カリキュラムについて

コース修了要件単位を満たす上で履修する必要のある科目は、下記の3種類に分かれます。

履修登録は、他の科目と同様、自身で学務情報システムから行ってください。（抽選対象科目となっている場合がありますので、その場合は忘れずに抽選登録期間中に希望登録を行ってください。）

必修科目	<p>日本語教育についての専門的な知識獲得及び技能養成のための科目です。 指定された全ての単位を修得する必要があります。 特定の科目を履修済みでないと履修できない科目がありますので、注意してください。 「日本語教授法概論」を除き、本コースの履修が許可された学生のみ、履修登録が可能です。</p>	
選択必修科目	<p>日本語教育についての専門的な知識獲得及び技能の養成のための科目です。 指定された6科目のうち、合計4単位を修得する必要があります。 (全ての科目を履修する必要はありません。)履修の順番に指定はありません。 「日本語教育演習」を除き、本コースの履修が許可される前からでも履修が可能です。</p>	
選択科目	日本語教育について幅広い知識を得るための科目です。 文化庁が指定する「必須の教育内容」の関連科目から12単位、外国語科目から2単位、計14単位を修得する必要があります。履修の順番に指定はありません。 本コースの履修が許可される前からでも履修が可能です。	
	文化庁が指定する「必須の教育内容」の関連科目	指定の科目のうち、合計12単位を修得する必要があります。 2026年度の指定科目は、6ページ以降をご確認ください。
	外国語科目	<p>教養教育科目として開設する全ての外国語科目（英語、中国語、韓国語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、イタリア語）から、合計2単位※を修得する必要があります。</p> <p>自身の母語の科目は、修了要件単位として認められません。</p> <p>※選択科目の外国語科目については、本コースの履修の許可を審査する際、履修申請者からの既修得科目の当該科目への認定申請に基づき、本コースにおいて修得した科目として認定します。</p>

☆ 2024年度入学者 履修モデルの例（2024年4月入学者を例としています。）

2027年度以降の開講科目及び開講学期については予定ですので、変更となる場合があります。

年次	学期	手続等	履修科目				
			必修科目 (合計8単位)	選択必修科目 (以下から 合計4単位修得)	選択科目		
					文化庁が指定 する「必須の教 育内容」の関連 科目	外国語科目	
1年次 2024 年度	第1～4学 期					指定科目から 合計12単位 (コース履修 開始前からで も、対象科目の 履修は可能で す)	教養教育科目と して開設する全 ての外国語科目 から合計2単位
2年次 2025 年度	第1学期		★日本語教授法概論				
	第2学期	コース履修申請 (所属学部宛)		★第二言語習得論 ★言語と社会			
	第3学期	コース履修開始	日本語教材研究1	★異文化の中の心理と 支援			
	第4学期		日本語教材研究2				
3年次 2026 年度	第1学期		日本語学概論1 日本語指導法1				
	第2学期		日本語学概論2 日本語指導法2				
	第3学期		日本語教育実習 (第3学期か第4学 期のいずれかで履 修)				
	第4学期			日本語教育演習			
4年次 2027 年度	第1～4学 期						
	3月末	コース修了 (コース修了 は、所属学部の 卒業と同時にな ります。)					

注) ★マークの科目は、日本語教育コースの履修が許可される前でも履修可能です。

4 修了要件について

入学年度によって修了要件が異なりますので、該当する入学年度の表をご参照ください。

各科目の開講曜日時限は、6ページ以降の「5 2026年度副専攻日本語教育コース対象科目時間割」をご参照ください。

日本語教育コース (2022年度～2024年度入学者に適用)

科目区分	授 業 科 目	単位	修了要件 単位数	履修年次	2026年度開講学期
必修科目	日本語教材研究1	1	1	2年次	第3学期
	日本語教材研究2	1	1	2年次	第4学期
	日本語学概論1 ※1	1	1	3年次	第1学期
	日本語学概論2 ※1	1	1	3年次	第2学期
	日本語教授法概論	1	1	2年次	第1学期
	日本語指導法1 ※1	1	1	3年次	第1学期
	日本語指導法2 ※1	1	1	3年次	第2学期
	日本語教育実習 ※2 ※3	1	1	3年次	第3学期又は第4学期
選択必修 科目	日本語教育とマルチメディア	1	4	1～4年次	(2025年度以降 開講予定なし)
	異文化の中の心理と支援	1			第3学期
	言語と社会	1			第2学期
	第二言語習得論	1			第2学期
	日本語教育演習 ※2 ※3	1			第4学期
	日本語研究と教材作成	1			(2025年度以降 開講予定なし)
選択科目	文化庁が指定する「必須の教育内容」の関連科目から選択	1	2	1～4年次	全学期
	教養教育科目として開設する全ての外国語科目から		2	1～2年次	全学期
合 計			26		

注)

1. 「日本語教材研究1, 2」を既に履修した者のみが、表中※1の科目を履修することができます。
2. 「日本語指導法1, 2」を既に履修した者のみが、表中※2の科目を履修することができます。
3. 「日本語教育実習」及び「日本語教育演習」（表中※3）は2単位まで重複履修が可能ですが、コースの修了要件としては1単位までしか認められません。

☆ 必修科目・選択必修科目の科目名に「2」がつく科目を履修する時には、同じ科目名に「1」がつく科目を既に修得していることが必須です。

5 2026年度副専攻日本語教育コース対象科目時間割

本コースの対象科目は、下記時間割に掲げている授業科目名・期別・曜日・時限のものに限ります。上記時間割に掲げている科目と同一の授業科目名であっても、期別・曜日・時限が異なる科目を履修した場合は、本コースの修了要件単位に算入されません。

各科目の詳細は、シラバス等をご参照ください。

科目によっては、受講要件を定めている場合がありますので、備考欄に記載のない科目についても、予めシラバスを十分にご確認ください。

<必修科目> (全て教養教育科目)

授業科目	単位数	講義番号	学期	曜日	時限	備考
日本語教授法概論	1	914604	1	月	1・2	
日本語指導法1	1	914601	1	火	5・6	
日本語学概論1	1	914613	1	金	3・4	
日本語指導法2	1	914603	2	火	5・6	
日本語学概論2	1	914614	2	金	3・4	
日本語教材研究1	1	914605	3	水	3・4	
日本語教育実習【p.10 注）2参照】	1	914607	3	水	3・4	
日本語教材研究2	1	914606	4	水	3・4	
日本語教育実習【p.10 注）2参照】	1	914608	4	水	3・4	

<選択必修科目> (全て教養教育科目)

授業科目	単位数	講義番号	学期	曜日	時限	備考
第二言語習得論	1	914611	2	月	1・2	
言語と社会	1	914602	2	木	3・4	
異文化の中の心理と支援	1	914612	3	月	5・6	
日本語教育演習【p.10 注）2参照】	1	914609	4	火	5・6	

<選択科目のうち教養教育科目>

授業科目	単位数	講義番号	学期	曜日	時限	備考
アカデミック・ライティング	1	912293	1	月	3・4	
留学生支援ボランティア実習【p.10注）2参照】	1	912276	1	水	5・6	
日本語教育学概論	1	914610	1	木	3・4	
※外国語学習アドバイジングの基礎	1	912201	2	火	7・8	受講要件あり (詳細はシラバス参照)
留学生支援ボランティア実習【p.10注）2参照】	1	912277	2	水	5・6	
人間生活と心理学	1	912272		夏季集中		
ドイツ語海外研修(夏季)【p.10注）2参照】	2	913861		夏季集中		
中国語海外研修(夏季)【p.10注）2参照】	1	913863		夏季集中		
韓国語海外研修【p.10注）2参照】	1	913865		夏季集中		
語学研修・サマーコース【p.10注）2参照】	1	912052		夏季集中		
コミュニティエンゲージメント概論	1	912009	3	月	7・8	
ユニバーサルデザイン	1	912102	3	月	7・8	
留学生支援ボランティア実習【p.10注）2参照】	1	912278	3	水	5・6	
言語学概論	1	914615	3	木	3・4	
異文化組織で働く	1	912208	3	木	3・4	英語で実施
国際協力とプロジェクト管理	1	912209	4	木	3・4	英語で実施
※外国語学習アドバイジングの基礎	1	912202	4	木	3・4	受講要件あり (詳細はシラバス参照)
留学生支援ボランティア実習【p.10注）2参照】	1	912279	4	水	5・6	
近代日本美術の歴史と世界	1	912105	4	木	5・6	
グローバル社会における日本語教育	1	912213	4	木	7・8	日本語・英語併用で実施
人間関係・コミュニケーションの黄金律を学ぶ	1	912287	4	木	7・8	
フランス語海外研修(春季)【p.10注）2参照】	2	913862		春季集中		
中国語海外研修(春季)【p.10注）2参照】	1	913864		春季集中		
語学研修・スプリングコース【p.10注）2参照】	1	912053		春季集中		

<選択科目のうち専門教育科目>

重複履修の可否は、所属学部の教務担当にお問い合わせください。

開講学部と異なる学部にも所属する学生については、履修の可否や履修方法については各科目のシラバスを、卒業要件上の取り扱いに関する詳細は所属学部の学生便覧を確認してください。

開講学部	授業科目	単位数	講義番号	学期	曜日	時限	授業担当教員
文学部	人文学概説（言語学）	2	016105	3・4	水	3・4	栗林 裕
	人文学概説（言語学）	2	(2026年度 開講なし)	-	-	-	片桐 真澄
	人文学講義（言語学Ⅰ）	2	(2026年度 開講なし)	-	-	-	栗林 裕
	人文学講義（言語学Ⅱ）	2	016213	1・2	月	5・6	片桐 真澄
	人文学概説（現代日本語学）	2	016106	3・4	水	3・4	未定
	人文学講義（現代日本語学）	2	016218	3・4	月	3・4	中東 靖恵
	人文学講義（現代日本語学）	2	016222	1・2	月	7・8	堤 良一
	人文学講義（日本語教育学）	2	(2026年度 開講なし)	-	-	-	堤 良一
	実践演習（現代日本語学）	2	016313	1・2	月	3・4	中東 靖恵
	人文学概説（日本語学Ⅰ）	2	017109	3・4	木	7・8	久保 愛
	人文学概説（日本語学Ⅱ）	2	017110	1・2	金	5・6	京 健治
	人文学講義（日本語学）	2	017205	3・4	月	3・4	京 健治
	人文学講義（日本語学）	2	(2026年度 開講なし)	-	-	-	久保 愛
	人文学概説（文化人類学 b）	1	(2026年度 開講なし)	-	-	-	-
	異文化体験（文学部）	2	016501	特別	-	-	堤 良一・久保 愛
ことばと異文化	1	019822	1	火	1・2	シミッチー山 下ミラ	
教育学部	中等英語科内容構成論Ⅰ（リスニング・スピーキング）	1	02B478	4	月	5・6	Scott Gardner
	中等英語科内容論（英語学の特論）	1	02B479	4	木	5・6	阿部 真理子
	中等英語科内容論（英語学の研究）	1	02B251	1	月	5・6	阿部 真理子
	中等英語科指導法基礎 A	1	02B252	2	月	5・6	小山 尚史
	中等英語科指導法基礎 B	1	02B603	3	木	7・8	小山 尚史
	中等英語科指導法Ⅰ A	1	02B604	4	木	7・8	小山 尚史
	中等英語科指導法Ⅰ B	1	02B612	4	火	3・4	小山 尚史
	初等英語科指導法Ⅰ	1	02B596	4	火	3・4	小山 尚史
	初等英語科指導法Ⅰ	1	02B923	3	火	5・6	小山 尚史

開講 学部	授業科目	単 位 数	講義 番号	学期	曜日	時限	授業担当教員
教育学 部	初等英語科指導法Ⅱ	1	02B924	4	火	5・6	小山 尚史
	中等英語科内容構成論Ⅰ（文化の多様性と異文化理解）	1	02B921	1	月	3・4	山形 悟史
	中等英語科内容論（異文化理解の基礎）	1	02B922	2	月	3・4	山形 悟史
	中等英語科内容論（異文化理解の応用）	1	02B607	1	木	7・8	山形 悟史
	中等英語科内容構成論Ⅱ（多様な文化の受容と発信）	1	02B608	2	木	7・8	山形 悟史
	初等英語科指導法基礎	1	02B605	3	火	5・6	山形 悟史
	初等英語科指導法基礎	1	02B606	4	火	5・6	山形 悟史
	中等英語科指導法ⅡA	1	02B478	4	月	5・6	小山 尚史
	中等英語科指導法ⅡB	1	02B479	4	木	5・6	小山 尚史
	中等英語科指導法開発ⅠA	1	02B251	1	月	5・6	小山・竹野
	中等英語科指導法開発ⅠB	1	02B252	2	月	5・6	小山・竹野
	初等国語科指導法基礎	1	02B603	3	木	7・8	浮田 真弓
	初等国語科指導法基礎	1	02B604	4	木	7・8	浮田 真弓
	中等国語科指導法ⅠA	1	02B612	4	火	3・4	浮田 真弓
	中等国語科指導法ⅠB	1	02B596	4	火	3・4	浮田 真弓
	中等国語科指導法ⅡA	1	02B923	3	火	5・6	浮田 真弓
	中等国語科指導法ⅡB	1	02B924	4	火	5・6	浮田 真弓
	中等国語科指導法基礎A	1	02B921	1	月	3・4	池田 匡史
	中等国語科指導法基礎B	1	02B922	2	月	3・4	池田 匡史
	初等国語科指導法Ⅰ	1	02B607	1	木	7・8	池田 匡史
	初等国語科指導法Ⅰ	1	02B608	2	木	7・8	池田 匡史
	初等国語科指導法Ⅱ	1	02B605	3	火	5・6	池田 匡史
	初等国語科指導法Ⅱ	1	02B606	4	火	5・6	池田 匡史
	中等国語科内容論（国語学概論Ⅰ）	1	02B478	4	月	5・6	又吉 里美
	中等国語科内容論（国語学概論Ⅱ）	1	02B479	4	木	5・6	又吉 里美
	中等国語科内容論（国語学Ⅰ）	1	02B251	1	月	5・6	又吉 里美
	中等国語科内容論（国語学Ⅱ）	1	02B252	2	月	5・6	又吉 里美
	中等国語科内容論（文章表現）	1	02B603	3	木	7・8	又吉 里美
	中等国語科内容論（音声言語）	1	02B604	4	木	7・8	又吉 里美
	中等国語科内容論（近現代文学演習Ⅰ）	1	02B612	4	火	3・4	木村 功
	中等国語科内容論（近現代文学演習Ⅱ）	1	02B596	4	火	3・4	木村 功
	中等国語科内容論（漢文学演習Ⅰ）	1	02B923	3	火	5・6	土屋 聡
	中等国語科内容論（漢文学演習Ⅱ）	1	02B924	4	火	5・6	土屋 聡
	中等国語科内容論（古代文学Ⅰ）	1	02B921	1	月	3・4	松田 聡
	中等国語科内容論（古代文学Ⅱ）	1	02B922	2	月	3・4	松田 聡

開講学部	授業科目	単位数	講義番号	学期	曜日	時限	授業担当教員
教育学部	中等国語科内容論（国文学概論Ⅰ）	1	02B607	1	木	7・8	松田 聡
	中等国語科内容論（国文学概論Ⅱ）	1	02B608	2	木	7・8	松田 聡
GDP	Sociological Imagination	2	131070	1	月・木	7・8	宮川 陽名
	Global Sociology	3	131071	3・4	火	7・8	宮川 陽名
	Korean Diaspora	3	131075	3・4	水	9・10	鄭 幸子
	Topics in Japan and Beyond I	3	132060	1・2	火	7・8	鄭 幸子
	Topics in Japan and Beyond II	3	(2026年度 開講なし)	-	-	-	鄭 幸子

注)

1. 授業の形態については、原則として対面授業といたしますが、オンライン方式の授業を行う場合があります。
2. 複数の期別・曜日・時限に開講される科目であっても、同一名の授業科目は、重複して履修することができません（表中の※印の科目）。また、※印以外の科目でも、既に単位を修得した科目（読替科目を含む）は、重複して履修することができません。

ただし、「留学生支援ボランティア実習」、「ドイツ語海外研修（夏季）」、「中国語海外研修（夏季）」、「韓国語海外研修」、「語学研修・サマーコース」、「フランス語海外研修（春季）」、「中国語海外研修（春季）」、「語学研修・スプリングコース」は、既に単位を修得していた場合でも、重複して履修することができます。本コースの修了要件単位として、各科目それぞれ合計で最大2単位まで算入できます。

また、「日本語教育実習」及び「日本語教育演習」は最大2単位まで重複履修が可能ですが、コースの修了要件としては1単位までしか認められません。

6 登録日本語教員の資格取得に係る経過措置について

(日本語教育機関認定法ポータルサイトより)

登録日本語教員の資格取得に係る経過措置について

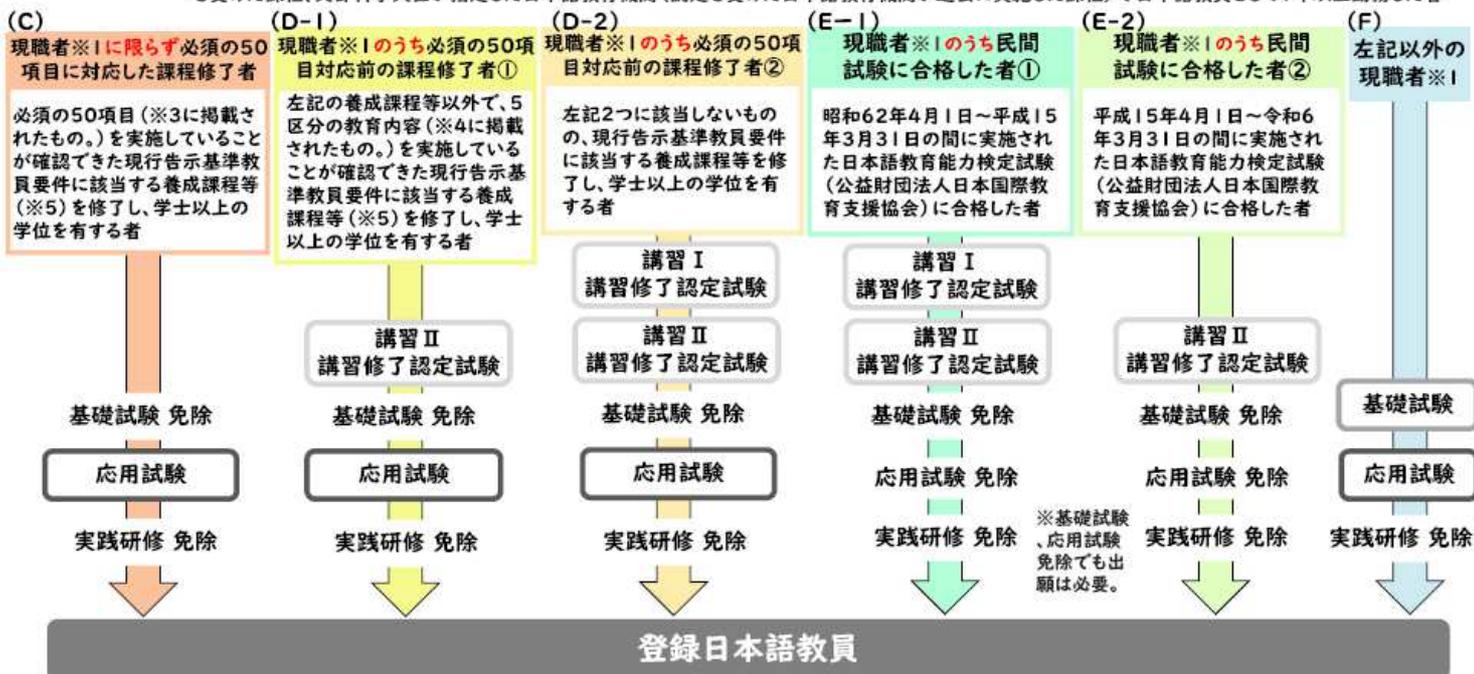
経過措置期間



令和6年4月1日～
令和15年3月31日まで※2

令和6年4月1日～令和11年3月31日まで

※1 平成31年4月1日(法施行5年前)～令和11年3月31日(法施行5年後)の間に法務省告示機関で告示を受けた課程、大学、認定日本語教育機関で認定を受けた課程、文部科学大臣が指定した日本語教育機関(認定を受けた日本語教育機関が過去に実施した課程)で日本語教員として1年以上勤務した者



※2 経過措置期間は原則として法施行後5年(令和11年3月31日)までとするが、現行の養成課程を実施する大学等が登録実践研修機関と登録日本語教員養成機関の登録を受ける前に在籍する学生等への配慮として、大学等の準備が遅れ、5年の経過措置期間が終了した直後の令和11年4月1日より登録機関としての実践研修・養成課程が開始された場合を想定し、それ以前から在籍した学生等が経過措置を受けられるよう、大学の修業年限が4年であることを踏まえ、原則である5年に4年を加え、50項目に対応した課程の修了者への経過措置の期間を令和15年3月31日までとする。

※3 日本語教育人材の養成・研修の在り方について(報告)改定版(平成31年3月4日)文化審議会国語分科会

※4 日本語教育のための教員養成について(平成12年3月30日)日本語教員の養成に関する調査研究協力者会議

※5 (C)及び(D-1)の養成課程等については文部科学省が確認を行い、それぞれの養成課程等の一覧を公開。